JAFRA NEWS
公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報
Japan Association for Rail Advertising

2月号
Vol.58
2020年2月1日発行

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808　FAX：03-3443-1616　メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：http://j-jafra.jp/

巻頭レポート

〝新ダイヤのポイント〟の効果的な発信
～JR直通線開業へ向けて～

相模鉄道株式会社
営業部営業企画課
田中　佳乃子

当社では、2019年11月30日（土）、東日本旅客鉄道との相互直通運転を開始することに伴い大きなダイヤ改正を実施いたしました。

それ以前は、本線（横浜～海老名間）、いずみ野線（二俣川～湘南台間）の2路線で営業運転を行ってきましたが、新ダイヤでは西谷駅から分岐し、新設した羽沢横浜国大駅を経由してJR東海道貨物線、横須賀線、埼京線を通り新宿方面へと直通しています。

二俣川駅～新宿駅間は最速44分で結ばれることとなり、これまでの横浜駅乗り換えと比較し10分程度、所要時間の短縮を実現いたしました。

これにより横浜市西部及び神奈川県央部と東京都心部の地域間の速達性が向上し、横浜駅やJR東海道線等の混雑緩和、乗り換え回数の減少等を図ったかたちとなります。

しかしながら、この直通線開業により利便性は向上しますが、種別の増加や停車パターンの変更などによるダイヤの複雑化により、お客様への事前告知が当初より課題となっていました。

新ダイヤ「どう伝えるか」

ダイヤ改正への関心のあるなしにかかわらず、日頃ご利用されているお客様に広く、しかも効果的な事前告知が必要でした。ホームページ上での告知やリーフレットの配布、地域イベントでのPRはもちろんのことですが、交通広告媒体を十分に活用し、ダイヤ改正告知をプロモーション企画として準備を進めていきました。

いまだかつてない大規模なダイヤ改正であるため、お客様に円滑にご利用いただけるよう、ビジュアルの製作にあたっては、その特質を考慮しつつも、構成や文面は慎重かつ大胆に考案を進めていきました。

全駅対応の専用ポスター

いかに「利用者目線」に掘り下げ

駅ごとに異なるポスター。全駅コンプリートを目指して写真撮影をされる方も。

られるかを追求した結果、全25駅ごとに新ダイヤのポイントをポスター告知する企画としました。ダイヤ改正前、当社には25の駅がございましたので、結果25種類のポスター、フレーズを製作することとなりました。各駅をご利用されるお客様に駅ごとのご案内を示すという試みです。

新たな種別や、その停車パターンを分析し、ダイヤ作成の担当部署などとすり合わせをしながら1駅1駅、各駅にとって最も重要なポイントを的確・明快な言葉で紙面に落とし込んでいきました。

これまでのダイヤ改正告知とくらべ、今回は受け取り手に浸透しやすい言葉を選ぶようにし、例えば、「すごく」「なんと」「しかも」などといった、あえてくだけた語調を用い、ダイレクトな表現にしました。

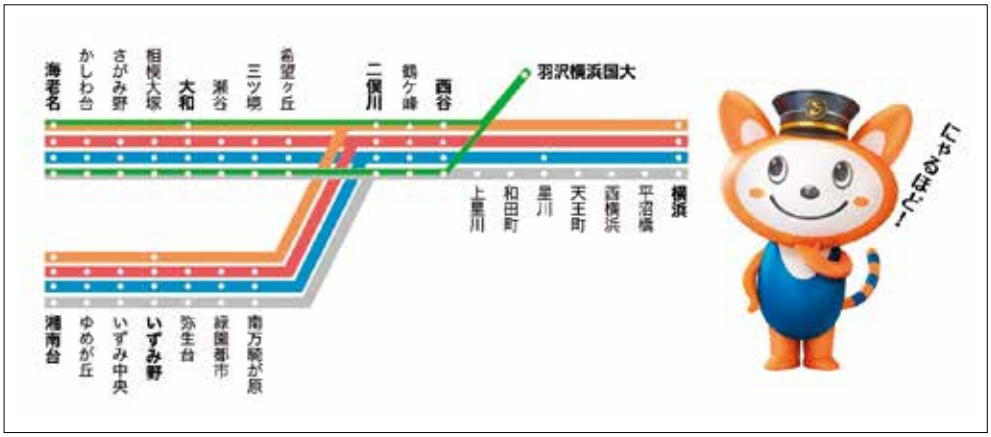
目を引く工夫

さらには、今回のダイヤ改正では、キャッチコピーを「相鉄線史上最大級のダイヤ改正」として大々的にプロモーションを行うとともに、統一したアイキャッチ・フレーズを使用していきました。「利用者に何を伝えたいか」を意識し、「ダイヤ改正当日、少しでも混乱なく乗車できる」ように情報発信を行うべく、目を引くことに重きを置いていきました。

駅貼りポスター「西谷駅」

駅貼りポスター「大和駅」

そこで、ダイヤ改正の案内人として当社キャラクターである「そうにゃん」を活用し、利用者の目の獲得を狙いました。キャラクターの３Ｄモデルを活用し、真新しさを押し出すことで、今回の告知は〝今までとは違う〟ことを強調したアイキャッチとしました。



当社キャラクターのそうにゃんが伝える新しい路線図

映像展開

また映像展開も行い、同イメージを使用したアニメーション動画を製作、トレインビジョンやデジタルサイネージにて放映しました。こちらもそうにゃんの３Ｄモデルが印象的な動画となっており、ダイヤ改正内容の事前確認を積極的に推奨していきました。

効果の振り返り

今回のプロモーション企画では、ポスター掲出直後よりＳＮＳ上などでの反響が見られ、特にそうにゃんファンの反応には前向きなものが多く、「これを見てはじめて新路線を理解した」「利用者周知が徹底されている」などキャラクターの有用性を改めて実感するに至りました。

またダイヤ改正当日は事前告知の甲斐あってか、「ダイヤ改正があること自体知らなかった」「ＪＲ線と直通することを知らなかった」といったお客様は見られず、大きな混乱もなく迎えることができました。

「！」を紙面全体に配置した構図も印象的なものとなりました。

次なるステップ、東急直通線へ向けて

今回のダイヤ改正がスタート地点であり、約３年後には相鉄・東急直通線の開業も控えています。今後継続的な調査を行うとともに、今回の成功事例および反省点を踏まえ、お客さまのご意見・ご要望や社内外からの声も加味しながら、より効果的な広告の発信に尽力してまいります。

広場

「ラグビーワールドカップ2019 日本大会を終えて」

常任理事　木村　喜朗（株式会社東急エージェンシー）

「4年に1度じゃない。一生に一度だ。」
―ONCE IN A LIFETIME―

このキャッチコピーを最初に見たときは背筋がゾクッとしたのを良く覚えている。

世界のラグビー界においては中堅国（ティア2）である日本でワールドカップが開催されるとは、誰が予想できたであろうか！

また後に知ることになるのだが、このコピーは私の高校時代のラグビー部の後輩の吉谷吾郎氏のよるものであった。（歳がかなり離れているため面識は無いが）

これも何かの縁なのだろうか？と更に身近に感じるようになった。と同時に、いろいろなことが気になり始めた。

・ジャパンはベスト8（決勝トーナメント）に進出できるのか？
・チケットは売れるのか？
・TVの視聴率は？
などなど。

駅周辺も熱量が高い

プールB　ニュージーランドvs南アフリカ

結果は皆さんご存じの通りですが、

観客動員数	約170万人
チケット販売率	99・3%（184万枚 過去最高）
パブリックビューイングやファンゾーンの来客者数	約113万人
経済波及効果	4372億円（大会組織委員会調べ）

以上のようなものすごい数字をたたき出した。

また、〝サッカーの観客の6倍！〟といわれたビールの消費量はおよそ3～4倍程度に終わったらしいが…（いくら何でも6倍は盛り過ぎ！）

私も2試合観戦に行ったが、トイレに立つと30分は戻れないような状態であった。

そしてジャパンは予選プールを全勝で見事決勝トーナメント、ベスト8に進出した。

南アフリカ戦では3－26で敗れはしたものの、勇気と感動を日本中に与えた。

いまでもラグビー日本代表メンバーはTV等でも引っ張りだこ。

また、12月からは大学選手権、高校ラグビーと熱戦が繰り広げられている。

そしてジャパントップリーグも1月12日に開幕！

まだしばらくラグビー漬けの生活を満喫するぞ！

今回〝にわかファン〟なる呼び方が産まれたが、にわかファン大歓迎!!!

そしてにわかファンの子供たちがラグビーを始めてくれたら最高!!!

我が家では「4年後のフランス大会に是非行ってみたい。」とにわかファンの妻が気の早いことを言い始めた。それも有かな、と考える今日この頃。

さあ貯金するぞ！

次回の広場もお楽しみに。

ジャパンの戦績

●予選プール			
	カード	スコア	視聴率
9月20日	対ロシア	30-10	18.3%
9月28日	対アイルランド	19-12	22.5%
10月5日	対サモア	38-19	32.8%
10月13日	対スコットランド	28-21	39.2%

●決勝トーナメント			
10月20日	対南アフリカ	3-26	41.6%

※瞬間最高視聴率は、スコットランド戦の53.7%です！

2019年度第2回理事会を開催しました

12月5日（木）、㈱ジェイアール東日本企画10F大会議室において、21名の理事が出席し開催した。

新井会長の挨拶に続き、審議が行われた。審議内容は、次の通り。

第1号議案
副支部長・委員長・副委員長の委嘱

人事異動等の事由により、定款施行規則第10条1項及び、定款施行規則第13条2項に基づき、2019年12月5日付で副支部長・委員長・副委員長の委嘱を行ないたいと加藤専務理事より説明があり、本議案は説明通り承認された。

○東北支部　副支部長
（新任）土屋 利典（㈱近宣 仙台支社
（退任）大仁田 智（㈱近宣 仙台支社

○安全委員会　委員長
（新任）島田 亮
（JR東日本メディア㈱
（退任）西崎 俊文
（JR東日本メディア㈱

○人材育成委員会　副委員長
（新任）後藤 哲男
（㈱電通名鉄コミュニケーションズ
（退任）土屋 政文
（㈱電通名鉄コミュニケーションズ

（敬称略）

第2号議案
就業規則の改定

加藤専務理事より、以下の説明があり、本議案は説明通り承認された。

2019年4月から「働き方改革を推進するための関係法律整備に関する法律」の一環として、全ての使用者に対して「年5日の年次有給休暇の確実な取得」が義務付けられたことに伴い、職員の就業内容について定めた「就業規則」の改定を2020年1月1日付で行いたい。

○改定内容
第3章　勤務
（有給休暇）
第10条　5を追記し、以下現行の5は6に改定。

・現行
（有給休暇）
第10条　職員が6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上出勤した場合、10労働日の有給休暇を与える。

新井良亮会長挨拶

本日は師走のおし迫った時期に、第2回理事会にご出席いただきありがとうございます。遠路来ていただいた方もおいでになると思いますが、簡潔に決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

12月ということで、この1年を振り返りますと、災害の多発、元号の変更、天皇の交代、ラグビーワールドカップなど様々なイベントもありましたが、来年のオリンピック・パラリンピックに向けて準備は整ったかと思います。

皆様にもご協力いただき、今年も第13回地球温暖化防止キャンペーンを開催しました。現在「COP25」も開催されていますので、温暖化防止の意義が広く認識される時代でもあり、そういう1年になったと思います。

温暖化キャンペーンに限らず、色々な取り組みができると考えていますし、また、協会としてやらなくてはいけないと思います。一方、大変厳しい経営環境が続いていますが、個々に努力するところと、協会ががんばるところがあると思いますが、いずれにしましても多くのビジネスモデルが変わっていることと、お客様のニーズが変わっていることをどう汲み取り、それを見ながら進めていくことかと思います。

これだけ全国より皆様にお集まりいただいていますので、各地域の特徴があると思いますが、調和を図りながら前進をしていく協会でありたいと考えております。皆様の絶大なるご協力をお願いして、冒頭の挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いします。

挨拶する新井良亮会長

2　前項の勤務日が8割に満たないときは、その都度別に定める。
3　職員が1年6ヶ月以上勤務した場合、6ヶ月を超えて継続勤務する日から起算した継続勤務年数1年（全労働日の8割以上出勤した1年に限る。）ごとに第1項の日数に1労働日を加算した有給休暇を与える。ただし、20日を限度とする。
4　有給休暇を請求する場合には、事前に本会に届け出て、その承認を得なければならない。
5　有給休暇は、当該年度の残存日数を翌年度に限り繰り越すことができる。

・改定後

5　第1項から3項の年次有給休暇が10日以上与えられた職員に対しては、付与日から1年以内に、当該職員の有する年次有給休暇の日数のうち5日について、協会が職員の意見を聴取し、その意見を尊重した上で、あらかじめ時期を指定して取得させる。ただし、職員が第4項の規定による年次有給休暇を取得した場合においては、当該取得した日数分を5日から控除するものとする。
6　有給休暇は、当該年度の残存日数を翌年度に限り繰り越すことができる。

報告事項

①第13回「地球温暖化防止キャンペーン」実施報告

1．キャンペーンのねらい

環境に優しい交通機関である鉄道に活動の基盤を置く公益法人として「地球温暖化防止」という公共性、社会性の高いテーマの鉄道広告キャンペーンを継続して実施することで、

(1)鉄道広告の持つ高い視認性とネットワーク力を活かして、環境問題に対する社会的警鐘を鳴らし、より豊かな社会の実現に寄与する。

(2)全国の鉄道会社が行っている環境保全へ向けての積極的な取組みを支援し、「CO_2排出量の少ない社会の実現に寄与すること」を目的とした。

2．キャンペーンの概要

主要鉄道路線の車内中づり広告、ターミナル駅およびその周辺駅の駅貼りポスター、駅デジタルサイネージメディア等の鉄道広告をネットワークし、空き枠の活用などにより、できる限り集中掲出に努めた。

本キャンペーンのスタート時は、ゴールデンウィークを中心に実施しましたが、猛暑により地球温暖化防止の気運が高まる・各媒体社の空き枠対策に貢献できる、などの理由により、第3回キャンペーンから8月に実施し、今回の第13回キャンペーンも8月に実施した。

(1)**実施期間**：2019年8月1日（木）～8月31日（土）

(2)**展開規模**：全国主要の鉄道駅および鉄道車両に延べ枚数約65万枚のポスターを集中的に一斉に掲出

①展開エリア：札幌、仙台、首都圏、名古屋、京阪神、高松、広島、福岡の各都市圏を拠点とした全国各地

②対象路線：JR6社、大手民鉄16社、地下鉄他14社　計36社局

(3)**ポスター種類**：

駅貼りポスター（B0及びB1サイズ）

車内中づりポスター（B3サイズ）

駅デジタルサイネージメディア

(4)**協賛**：一般財団法人日本宝くじ協会

(5)**後援**：環境省、国土交通省

3．キャンペーンコンセプト

第13回目の地球温暖化防止キャンペーンを実施するにあたり、以下のコンセプトに基づいて展開した。

モチーフは引き続き「野生動物」。

地球温暖化の影響を最も受けやすい象徴として「野生動物」があります。

私たち人間は、生産活動によって大量のエネルギーを消費し、地球環境を破壊している加害者であり、野生動物は一方的にその環境変化の影響を受けている極めて弱い立場の被害者ということができます。

森林、大地、海など美しい環境に生きる「野生動物」を描いたアートをモチーフにすることで、鉄道を利用する多くの人々が環境問題について考えるきっかけを今年も1枚のポスターから発信しました。

4．制作協力

(1)**ビジュアル提供**：
宮田亮平氏　東京藝術大学名誉教授
「シュプリンゲン」
大津英敏氏　多摩美術大学名誉教授
「くつろぎのとき」
手塚雄二氏　東京藝術大学教授
「不忍」（部分）　所蔵足立美術館
日比野克彦氏　東京藝術大学教授
「窓を横切るコンドル」

(2)**アートディレクター**：蝦名龍郎氏

(3)**コピーライター**：
根岸礼子氏　マキプロ
「エキからエコ。」

5. 立体的な展開

夏休みには、家族連れや親子連れの鉄道利用者が増加する。そこで、ＪＡＦＲＡホームページにて家族で地球温暖化防止について考えてもらうための材料を提供した。**（太字は２０１９年度の新たな取組）**

エキからエコ

(1)各鉄道会社局のホームページにリンクを貼ることで、鉄道会社が現在取組んでいる様々な環境保全活動を紹介。鉄道会社局の口ゴと車両写真を載せ、親しみやすく、リンクしやすいよう工夫した。

(2)昨年度のキャンペーンの掲出事例をエリア毎に紹介。

(3)協賛、後援省庁・団体の環境保全活動への取組みサイトへのリンクなどを開設することでインターネットとの連動を図った展開を実施。

エキからアート

(4)各アーティストのプロフィールや作品に寄せるメッセージ、地球環境についての考えなどを紹介し、また、ポスターに印刷されたＱＲコードからも、同様の情報を入手できるようにした。**ＱＲコードのデザインを一新し、より興味をもってアクセスしていただけるよう工夫した。**

(5)美観風致の事例として、駅で目にすることのできるパブリックアート、交通に関する博物館やアクティビティも紹介。

(6)過去の作品をアーカイブとしてホームページ上に掲載。

②「e-販促データシステム」の稼働状況

本年5月第1回理事会以降の「e-販促データシステム」稼働状況等を報告する。

前回以降入会・退会はなく、有料会員数75社。

1. アクセス状況

	会員	一般	合計
5月	2,210	45	2,255
6月	1,940	7	1,947
7月	1,599	7	1,606
8月	1,311	16	1,327
9月	1,454	0	1,454
10月	1,633	10	1,643
11月	1,738	4	1,742

2. 操作説明会

交通広告従事2～3年目の方を対象に操作説明会を以下の日程で開催した。

今後のシステム改修等の検討資料のためのアンケートを実施した。

・東京　6月11日（火）　14時～
会場：ジェイアール東日本企画　会議室
参加：27社66名

・大阪　6月13日（木）　14時～
会場：ＪＲ西日本コミュニケーションズ　会議室
参加：24社46名

3. システムの改修

会員各社に有効活用してもらえるよう、操作説明会でアンケートを実施し、会員から寄せられた要望を基に、毎月開催している編集会議で来年度のシステム改修の内容を議論、以下の改修を検討した。

(1)改修内容

・「Station AD Planner」「Train AD Planner」共通項目

①バス料金情報（価格、路線図、発着駅等）

②英語版　スペシャルコンテンツとしても検討

・「Station AD Planner」項目

①施設データの一括ダウンロード

・「Train AD Planner」項目

①貸切電車、車内ビジョン等のサーキュレーション追加

②路線図の全国化

甲信越、北陸地区の路線図を追加

⇓編集委員会で議論、検討の結果、「Train AD Planner」路線図の全国化のみ実施することが決定。

(2)改修時期　２０２０年４月使用開始予定。

(3)改修期間、費用を現在精査中。次回理事会にて詳細を報告予定。

栗原委員長より以下の補足説明があった。

調査研究委員会　栗原圭一委員長

おかげさまで、e-販促データシステムを改修したのが5年前で、現在、年額約６５０万円を会費としていただいています。ランニングコストが５５０万円くらいかかっているので、５年が経過し、システムもだいぶ進歩しているので、コストの見直しを進めて、もう少しお金をためて大がかりな改修に備えることを来年度以降検討したいと思います。

栗原圭一委員長

③アカウンタビリティ向上の進捗状況

昨年5月に開催した第1回理事会以降のアカウンタビリティ向上について進捗状況の報告があった。

1. 交通広告共通指標推定システム会員社の推移

前回より変化はなく、現時点の会員社数は以下の通り。

・関東交通広告協議会（11社会）会員社　18社
・日本広告業協会（ＪＡＡＡ）会員社　6社
・日本鉄道広告協会（ＪＡＦＲＡ）会員社　25社
合計49社

2. 推定システムアクセス数の推移

5月以降のアクセス状況は以下の通り。

アクセス数

5月	159
6月	83
7月	75
8月	37
9月	51
10月	57
11月	44

3. 車両メディア調査概要

・調査期間：２０１９年3月～6月
11社局4グループ、3日間
・調査対象：1都3県に居住する15歳から59歳で対象路線を利用した者
・サンプル数：９９００（各線３０サンプル×3日間）

4. 車両メディア対象ユニット

(1)既存6パターン「中づり（一般）」「中づり（出版）」「まど上」「ドア横」「ステッカー」「ビジョン」について、昨年同様、２０１５年調査から5年分の素材を使って共通指標の更新。
(2)ブランドリフト設問のまとめ方検討
ブランドや企業の好意的イメージ向上に、交通広告がどの程度貢献しているかを示すデータを提示できるよう検討。
(3)各ユニットの説明変数の見直し

ユニット別調査素材数 2019 年度

ユニット名	調査素材数	累計(2015-2019年度)
中づり（一般）	41	219
中づり（出版）	2	31
まど上	41	271
ドア横	23	124
ステッカー	34	176
ツインステッカー	13	63
ビジョン	44	182
合計	198	1,066

各ユニットに付与している説明変数のカテゴリー及び区分（業種等）について検討。

5. 駅メディア調査概要

・調査対象ユニット：駅ポスター、駅デジタルサイネージ、サインボード、フラッグ、柱巻き
・調査期間：２０１９年8月～10月
11社局ごとに特定の1日
・調査対象：1都3県に居住する15歳から59歳で対象駅スポットを通過した者
・サンプル数：各社局1駅スポット、１００サンプル以上
・調査対象素材条件：業務用広告以外で、調査対象当日までの掲出期間が3週間以内の素材に限る。現在、調査集計中。
結果については、次回理事会にて報告の予定。

6. プレスリリース

(1)時期：２０２０年3月下旬を予定
(2)内容（案）：
・「中づり（一般）」「中づり（出版）」「まど上」「ドア横」「ステッカー」「ビジョン」「駅ポスター」共通指標の更新
・車両、駅メディア調査の結果から得られる知見。
内容はプロジェクト内で検討中。

大塚委員長より以下の説明があった。

アカウンタビリティ向上委員会
大塚尚司委員長

今年も11社会の皆さまにご協力いただき、ありがとうございました。日本アドバタイザーズ協会（ＪＡＡ）の方から交通広告共通指標とはどのようなものかということと活用のポイントについて説明して欲しいということで、ＪＡＡのＳＰ委員会（委員長はサントリーの山田氏）の主催で10月31日、ＪＡＡの会議室で説明会を開催しました。広告主60社92名の参加があり、交通広告共通指標について説明をしました。引き続きＯＯＨの最新活用事例ということでパナソニックと花王から事例の紹介があったということで、非常に高い関心を持たれているということです。

プレスリリースを3月下旬に発行しますので、今準備していますが、車両のデータで、電車の中で広告を「見ていない」人と「見た、または、

大塚尚司委員長

見たような気がする」人とのブランドの好感度がどのくらい違うのかということを発表する予定です。結果的に「見た、または、見たような気がする」という人では2～3倍好感度が上がるという数字が出ていますので、今後OOHに関して効果があるとアナウンスができると思います。

④支部の活動状況

2019年度の主な活動状況は以下のとおり。

1. 北海道支部

・6月28日（金）支部総会・懇親会
会場：ANAクラウンプラザホテル札幌
出席者：18社53名

・8月28日（水）交通広告研修会
会場：ANAクラウンプラザホテル札幌
演題：「デジタルサイネージの最新事例と交通広告のトレンド」
講師：㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部デジタルサイネージ推進センター長 山本 孝氏
参加者：13社40名

・11月20日（水）～23日（金）媒体視察研修
研修場所：大阪梅田駅（阪急・阪神）・大阪駅・京都駅
研修内容：「各駅の交通広告及び商業施設の広告について」
京都駅ではJR西日本コミュニケーションズより情報提供
参加者：9社11名

・12月5日（木）予定 交通広告勉強会
会場：ANAクラウンプラザホテル札幌
内容：近年の交通広告媒体の傾向（仮）

・8月 第13回地球温暖化防止キャンペーン（以下各支部共通）

2. 東北支部

・12月17日（火）支部総会・セミナー・懇親会（開催予定）
会場：ホテルメトロポリタン仙台
セミナー
演題：デジタルサイネージのトレンドとトピックス～交通分野で高精細LEDディスプレイ導入が拡大～
講師：㈱ジェイアール東日本企画 交通媒体本部デジタルサイネージ推進センター長 山本孝氏
出席者：47社55名（委任状35社）

3. 首都圏支部

・7月8日（月）支部総会・幹事会・セミナー・懇親会
会場：ホテルメトロポリタン池袋
支部総会
セミナー
演題：「ミュゼプラチナムのメディア戦略」
講師：㈱ミュゼプラチナム マーケティング部マスマーケティングチーム 課長代理 神野碧氏、相馬弥生氏
参加者：44社83名

・10月21日（月）実務研修
会場：ジェイアール東日本企画 大会議室
内容／講師：
ビジネス概論／㈱メトロアドエージェンシー 金沢一幸氏
展開事例研修／㈱オリコム 吉田勝広氏
安全研修／JR東日本メディア㈱ 渡辺利治氏
掲出基準研修／㈱ジェイアール東日本企画 寺田剛氏
参加者：23社48名

4. 中部支部

・7月29日（月）支部総会・懇親会
支部総会
会場：㈱ジェイアール東海エージェンシー 名古屋本社会議室
出席者：27社39名（委任状5社）

・9月3日（火）セミナー
会場：JRゲートタワーカンファレンス
演題：「ファンベース～支持され、愛され、長く売れ続けるために～」
講師：コミュニケーション・ディレクター 佐藤尚之氏
参加者：23社73名、学生20名 計93名

・9月～2020年2月 交通広告インターン・調査研究事業
・11月25日（月）第2回セミナー
会場：ジェイアール東日本企画 大会議室
演題：「『#平成を語ろう』キャンペーン、トレインジャックで実現する新たな顧客体験」
講師：Twitter Japan㈱ 張浩（チャン・ホ）氏
参加者：23社39名

「交通広告インターンシップ２０１９」
会員社：４社10名
参加大学：愛知大学、愛知県立芸術大学、金城学院大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、南山大学　計39名
協賛広告主：岐阜県、東邦ガス㈱
製作協力：㈱フォトクラフト社
スケジュール：
９月３日（火）キックオフミーティング
９月21日（土）講義「交通広告概論」、「クリエーティブ」、「交通広告事例」
協賛広告主オリエンテーション、グループワーク
10月５日（土）講義「交通広告営業」、グループワーク
11月16日（土）広告制作プレゼンテーション・懇親会（予定）
１～２月（予定）選定された広告を「名古屋エクスプレスビジョン」、「名古屋ワイドウォール」で掲出予定
・11月21日（木）・22日（金）媒体等視察研修
研修場所：博多駅・西鉄福岡（天神）駅「交通広告媒体等」の視察
参加者：18社20名

５．近畿・中国・北陸支部

・７月９日（火）支部総会・幹事会・セミナー
会場：ホテルグランヴィア大阪
○支部総会
出席者：42社52名
○セミナー
演題：「統合型リゾート（ＩＲ）による関西の活性化」
講師：学校法人谷岡学園理事長、大阪商業大学学長　谷岡一郎氏
参加者：49社１００名
・９月19日（木）交通広告実務研修
会場：㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ
研修内容：
「広告メディア概論　ＯＯＨ」
講師：帝塚山学院大学非常勤講師、大阪市立大学名誉教授　中野秀男氏
「交通広告の現状と最新トレンドについて」～事例紹介をまじえ～
講師：㈱ＪＲ西日本コミュニケーションズ企画総務部 メディア企画推進センター長　土屋樹一氏
参加者：37社90名

６．四国支部

・６月18日（火）支部総会・懇親会
会場：ＪＲホテルクレメント高松
支部総会出席者：12社14名
懇親会：12社19名
・８月21日（水）第２回役員会
会場：㈱ジェイアール四国企画 会議室
参加者：７社９名（事務局長含）
・12月２日（月）～４日（水）
視察研修会（予定）
台湾の交通広告事情及びＪＲ東日本グループが現地展開している商業施設等視察

７．九州支部

・８月22日（木）支部総会・セミナー・懇親会
会場：ＪＲ博多シティ大会議室Ａ＋Ｂ
支部総会
出席者：25社38名
セミナー
演題：「The Power of OOH - Programmatic 時代に媒体社が知っておくべきＯＯＨ最新トレンド」
講師：㈱ＬＩＶＥ ＢＯＡＲＤ代表取締役社長　神内一郎氏
参加者：27社62名
懇親会
参加者：28社57名
・２０２０年３月予定　支部運営会議の開催

以上をもって新井議長は、16時７分「２０１９年度 第２回理事会」の閉会を宣言し、議事が終了した。

今後のスケジュール

〈年賀会〉
○２０２０年１月８日（水）
15時30分～17時
令和２年「広告界合同年賀会」
会場：帝国ホテル本館２階「孔雀の間」
共催団体：広告関連29団体

〈理事会・総会〉
○３月11日（水）15時～
２０１９年度「第３回理事会」
会場：㈱ジェイアール東日本企画
10階大会議室
・２０２０年度事業計画（案）
・２０１９年度収支決算（見込）及び２０２０年度予算（案）
○５月下旬
２０２０年度「第１回理事会」
会場：㈱ジェイアール東日本企画
10階大会議室
○６月29日（月）
２０２０年度定期総会　14時～
セミナー　16時～
懇親会　17時30分～
会場：ホテルメトロポリタン（池袋）

〈委員会〉
●技術開発委員会　情報交換会
３月５日（木）
会場：ジェイアール東日本企画会議室
●第３回総務・財務委員会
３月上旬
会場：ジェイアール東日本企画会議室

四国支部

研修会を開催しました

四国支部（山西弘泰支部長）は、2019年12月2日（月）～4日（水）の3日間、台湾にて研修会を開催した。詳細は以下の通り。

日時：2019年12月2日（月）～4日（水）
場所：台湾
目的：台湾における鉄道広告事情と松山駅・台北駅「交通広告媒体」の視察及びJR東日本グループが現地展開している商業施設「atre」「JAPAN RAIL CAFE」の視察
参加者：支部会員8社10名

松山駅構内の友好鉄道協定締結 JR 四国ブース視察

「JAPAN RAIL CAFE」視察

台北駅構内の媒体視察

概要：2013年10月にJR四国「松山駅」と台湾政府の交通部台湾鉄路管理局「松山駅（ショウザンエキ）」との友好鉄道協定締結の関係により、交通部台湾鉄路管理局及び新極現広告有限公司（電通系広告代理店）の担当者による台北駅広告事情説明及び広告媒体、松山駅広告媒体の視察を行いました。

また、JR東日本グループが現地展開している商業施設「atre」「JAPAN RAIL CAFE」の現地社員による説明及び視察を行いました。

今回の台湾研修会は、JR四国様のご手配により大変有意義な研修となりました。

交通部台湾鉄路管理局での意見交換会

東北支部

支部総会を開催しました

1．支部総会の開催

12月17日（火）メトロポリタン仙台において、2019年度JAFRA東北支部総会を開催しました。

総会には会員13社28名の参加がありました。

百々東北支部長の挨拶の後、議題の審議に移り、それぞれ承認されました。

《2018年度東北支部事業報告》
・支部総会の開催

東北支部セミナー

・支部セミナーの開催
・地球温暖化防止キャンペーンの実施
※（参考）日本鉄道広告協会（本部）の活動について

2．支部セミナーの開催

同日、㈱ジェイアール東日本企画交通媒体本部デジタルサイネージ推進センター長の山本孝氏をお招きし、「デジタルサイネージのトレンドとトピックス」と題したセミナーを開催しました。出席した会員は熱心に耳を傾けていました。

3．懇親会の開催

同日、支部総会終了後、同ホテルにおいて懇親会を開催しました。

懇親会には、会員11社23名の参加があり、和やかに親睦を深めました。

東北支部懇親会

事務局からのお知らせ

合同年賀会を開催しました

1月8日（水）、広告関係29団体共催による「広告界合同年賀会」が、東京都千代田区の帝国ホテル「孔雀の間」で、昨年よりも多い業界関係者ら約1832人の申し込みがあり、華やかに開催されました。

全日本広告連盟大平明理事長、日本新聞協会山口寿一会長、日本民間放送連盟大久保好男会長、日本雑誌協会鹿谷史明理事長、日本雑誌広告協会片桐隆雄理事長、日本屋外広告業団体連合会冨田栄次会長、日本広告業協会成田純治理事長、日本アドバタイザーズ協会伊藤雅俊理事長の8名が登壇し、鏡開きが行われました。

乾杯の発声をする大平明氏

続いて、共催者を代表し日本広告連盟大平明理事長が「今年の干支は庚子（かのえね）です。この庚という文字にはものごとを切り拓くという意味があります。イノベーションがどんどん進む令和の幕開けをすばらしい年にしましょう。」とあいさつし、新たな時代への出陣の鬨の声をあげましょう、エイエイオウの掛け声とともに乾杯が行われました。

今年も縁起物の江戸囃子「鼓太郎」が場内を明るく盛り上げ、出席された皆さまは新春の挨拶を交わされていました。

大変気の早いお知らせですが、来年の年賀会も2021年1月6日（水）同会場での開催が決定しております。本年同様、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

江戸囃子「鼓太郎」

編集後記

長野オリンピックの会場になったスキー場が雪不足と利用者の低迷で今季を最期に閉鎖するというニュースを見ました。暖かい日が続くこともいいことばかりではないですね、融雪時の水不足も心配です。
寒い冬でも、季節の花は満開ですね。
遅ればせながら 2020 年もよろしくお願いします。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ（http://j-jafra.jp）の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.59は4月1日発行予定です。お楽しみに。